

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第14週 （4月2日～4月8日）

## ★お知らせ

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第13週の3.80から第14週は3.43と横ばいです。県全域から報告があり、須崎、中央西、中央東で減少していますが、安芸で急増しています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス5例、ロタウイルス2例、アデノウイルス1例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌を原因とする胃腸炎5例や「胃腸炎が増えている」の報告があります。

病原体検出情報では、第14週に須崎から搬入された検体からNorovirus GII NTが2例、第12週に幡多から搬入された検体からAdenovirus 2が1例検出されています。

乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。ノロウイルス性胃腸炎は、通常1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあることから注意が必要です。

#### <予防方法> 感染予防の基本は手洗いです

人への感染経路は、主に経口（食品、糞便）です。食品を除けば大半が手に付着したウイルスが口に入って感染します。感染防止策は「手洗い」が基本ですので帰宅時・調理前・食事前・トイレの後に石けんを使ってよく手を洗いましょう。また、感染した人の便や吐物には、大量のウイルスが含まれていますので直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認した上で使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）また、調理をする場合は、十分加熱しましょう。

#### ●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

#### ●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第13週の2.29から、第14週は0.85と急減しています。高知市、安芸、中央東、中央西、幡多で急減、須崎で減少しています。

学校等における集団発生の報告（学級閉鎖等）はありませんでした。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型が23件（57.5%）、インフルエンザB型が17件（42.5%）となっています。

病原体検出情報では、第14週に高知市から搬入された検体からInfluenza virus AH3 NTが1例、Influenza virus B/Victoriaが2例、須崎と幡多から搬入された検体からInfluenza virus B/Yamagataが各1例検出されるなど、異なる型の流行がみられることから、複数回感染することも考えられますので、引き続き注意して下さい。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2018年第9～13週）ではB（山形系統）の検出割合が最も多く53.4%、次いでAH3が38.5%、AH1pdm09が5.3%、B（ビクトリア系統）が1.7%、B（系統不明）が1.1%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第6週：定点当たり67.67）の約1/80に減少していますが、報告が続いているので、外出後の手洗い等の感染予防、感染拡大予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

厚生労働省 インフルエンザ（総合ページ）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html)

## ○ヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症に気を付けて！

定点医療機関からのホット情報では、ヒトメタニューモウイルスによる感染症の報告が、第14週に23例報告されています。安芸1例、高知市11例、中央西3例、須崎4例、幡多4例の報告があり、年齢別にみると0歳2例、1歳6例、2歳9例、3歳3例、4歳2例、5歳1例となっています。

病原体検出情報では、第13週に須崎から搬入された検体から Human metapneumovirus が1例検出されています。

ヒトメタニューモウイルス感染症の流行時期は3～6月が中心で、1歳から2歳に多く、主な症状は、咳、発熱、鼻水です。重症化すると、喘鳴（ゼーゼー）、呼吸困難が見られます。

免疫を獲得しづらいため再感染を頻繁に起こすとされています。有効なワクチンはまだありませんので感染予防には、手洗い、うがい、マスクの着用、接触感染対策が大切です。

国内では、流行時期に高齢者施設などでhMPVを原因とする呼吸器感染症の集団発生が散見されていますので注意が必要です。

## ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関からのホット情報では、百日咳が須崎から4例報告されています。

百日咳は、感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染により感染します。そのため、比較的軽い症状の患者や感染しても症状が軽いため百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することも考えられることから注意して下さい。

<予防方法> 飛沫感染予防には、手洗い、咳エチケットです

- ・生まれた直後から百日咳にかかる可能性があります。咳が続いている人は、百日咳の可能性も考えて、赤ちゃんに注意して接しましょう。
- ・外出時にはマスクを着用し、人混みはなるべくさけ、帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- ・定期予防接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

### 咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 使用したティッシュなどは、ゴミ箱に捨てましょう。
- ★ 咳やくしゃみをした後は、石鹸を使用して、よく手を洗いましょう。

## ○沖縄県における麻疹患者の発生状況について！

2018年3月23日、沖縄県内を旅行中の台湾からの旅行者が麻疹と診断されたと報告がありました。以降、この患者（初発例）と接触歴のあった二次感染例を中心に、沖縄県内では麻疹患者の発生が続いています。初発例は感染性のある期間中に広く沖縄県内を移動していたこと、二次感染例が沖縄県内の広い地域から報告されていることから、今後、沖縄県内及び県外での感染拡大が懸念されています。

沖縄県内を3月17日以降に旅行されている方で、その機会から約10～12日（潜伏期間）後に発熱等の症状が現れた時は麻疹の可能性を考慮し、他の人への感染を防ぐためあらかじめ医療機関に連絡のうえ、指示に従って受診しましょう。

各医療機関では、麻疹の疑いの患者を診察されたときは、直ちに最寄りの県福祉保健所又は高知市保健所へご連絡ください。

また、麻疹はワクチン接種が予防に有効です。定期接種の年齢の方は期間内に接種することおすすめします。

沖縄県衛生研究所：

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/measles.html>

国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

☆山や草むらでの野外活動の際にはダニに注意！

★日本紅斑熱や SFTS に注意しましょう

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。暖かくなるとダニの活動が活発になり、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便から SFTS ウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトが SFTS を発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

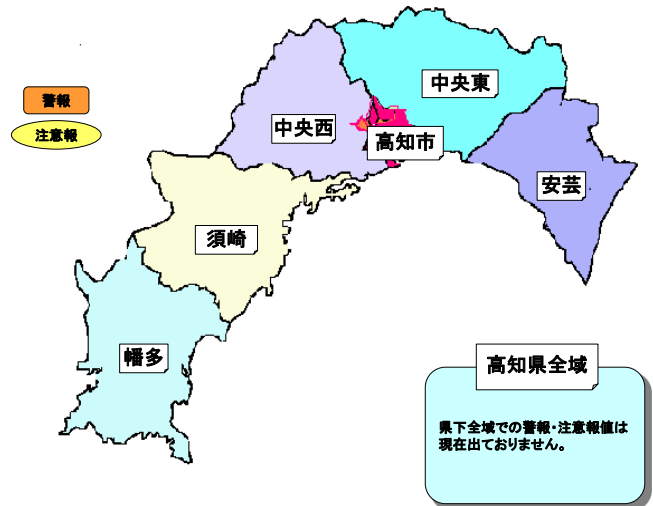
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増    ↗：増加    →：横ばい    ↘：減少    ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	3. 4 3	須崎、中央西、中央東で減少していますが、安芸で急増しています。
インフルエンザ	↓	0. 8 5	県全域、高知市、安芸、中央東、中央西、幡多で急減、須崎で減少しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0. 6 7	須崎で急減、県全域、高知市、幡多で減少していますが、中央西、安芸で急増、中央東で増加しています。
突発性発疹	↗	0. 3 0	中央西で急減、高知市で減少していますが、幡多、中央東で急増、県全域で増加しています。
RS ウイルス感染症	→	0. 2 7	高知市で増加しています。

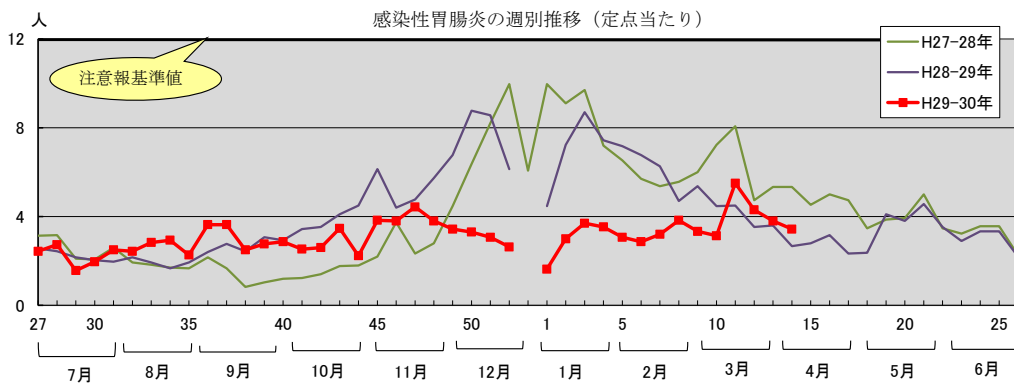
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

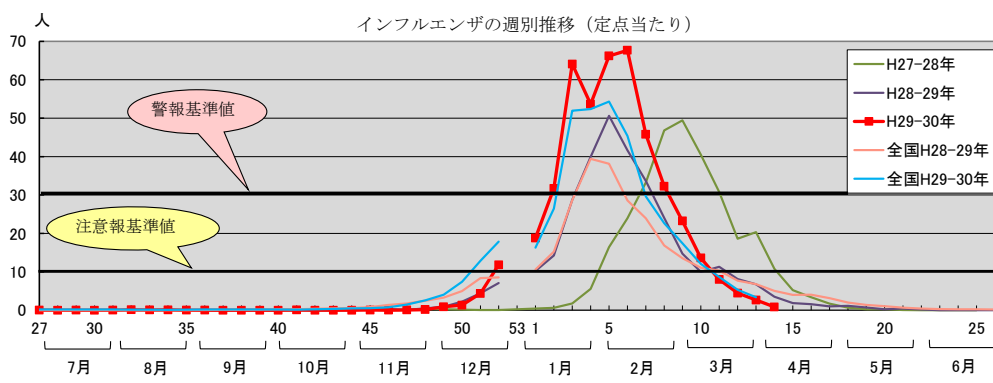
○感染性胃腸炎 第14週：3.43（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.43（前週：3.80）と横ばいです。須崎 4.50（前週：6.00）中央西 2.33（前週：3.00）中央東 2.29（前週：3.29）で減少していますが、安芸 4.50（前週：2.00）で急増しています。



○インフルエンザ 第14週：0.85（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.85（前週：2.29）と急減しています。高知市 1.31（前週：3.13）安芸 1.00（前週：3.00）中央東 0.82（前週：1.73）中央西 0.80（前週：2.60）幡多 0.00（前週：1.50）で急減、須崎 0.75（前週：1.00）で減少しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H28-H29年とH29-H30年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
14	インフルエンザ	40℃,咳嗽,気管支炎,	15	女	高知市	Influenza virus A H3 NT
14	インフルエンザ	39℃,気管支炎,	2	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
14	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	9	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
14	インフルエンザ	39℃,上気道炎,関節痛,	44	女	須崎	Influenza virus B/Yamagata
14	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	14	男	幡多	Influenza virus B/Yamagata
14	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	5	男	須崎	Norovirus GII NT
14	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	6	女	須崎	Norovirus GII NT

前週以前

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
8	手足口病	39℃,発疹,口内炎,	1	女	高知市	Enterovirus 71
8	突発性発しん疑い、中枢神経感染症疑い	—	5	男	中央東	Herpes simplex virus 1
9	インフルエンザ様疾患	39℃,咳嗽,肺炎,	3	男	幡多	Coxsackievirus B4
12	不明熱	39℃,	11ヶ月	男	須崎	Adenovirus 2
12	感染性胃腸炎	—	1	男	幡多	Adenovirus 2
13	不明熱	40℃,咳嗽,	11ヶ月	女	須崎	Human metapneumovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	36	30歳代 女	安 芸
		1		40歳代 女	
		1		40歳代 女	
		1		70歳代 女	中央東
		1		60歳代 女	中央西
		1		80歳代 女	須 崎
		1		80歳代 男	幡 多

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	hMPV 1例 (1歳女)
中央東	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染性胃腸炎 1例 (3歳)
高知市	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 2例 (1ヶ月男女) 病原性大腸菌 1例 (6ヶ月女) ヒトメタニューモウイルス 2例 (5ヶ月男、7ヶ月女)
	福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症 1例 (1歳男) 溶連菌感染症 3例 胃腸炎が増えている
	けら小児科・アレルギー科	hMPV肺炎 5例 (1歳、2歳、3歳2人、4歳) サルモネラ O-9腸炎 1例 (9歳) 病原性大腸菌 O-25腸炎 2例 (2歳、11歳)
	細木病院小児科	ノロ 1例 (1歳女) ロタ 1例 (1歳男)
	三愛病院小児科	hMPV 4例 (1歳女、2歳女2人、3歳男)
中央西	日高クリニック	ヒトメタニューモウイルス感染症 3例 (1歳男、4歳女、5歳女)
須 崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎 6例 (カンピロバクター1例:10歳 ロタウイルス 1例:1歳 ノロウイルス 4例:2歳、3歳各1人 4歳2人) ヒトメタニューモウイルス感染 4例 (1歳2人、2歳2人) 百日咳 (14週届出) 4例 (5歳2人、9歳、12歳)
幡 多	さたけ小児科	hMPV 4例 (2歳男、2歳女3人)
	渭南病院小児科	アデノウイルス結膜炎 1例 (6ヶ月女) アデノウイルス咽頭炎 1例 (1歳男)

★全国情報

第12号（3月19日～3月25日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核255例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症7例

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎15例、マラリア1例、レジオネラ症21例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性脳炎6例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群17例、ジアルジア症1例、

侵襲性インフルエンザ菌感染症8例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例

侵襲性肺炎球菌感染症45例、水痘（入院例に限る）6例、梅毒72例、

播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、百日咳40例、麻しん2例

報告遅れ：E型肝炎2例、レジオネラ症2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症10例、

急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘（入院例に限る）5例、梅毒49例

百日咳15例

---

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第14週 平成30年4月2日(月)～平成30年4月8日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計)		全国(13週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/1/1～H30/4/8	H30/1/1～H30/4/1		
インフルエンザ	インフルエンザ	4	9	21	4	3		41 ( 0.85)	110 ( 2.29)	16,749 ( 3.39)	20,766 ( 432.63)	1,714,327 ( 346.68)		
小児科	咽頭結核熱			1				1 ( 0.03)	3 ( 0.10)	877 ( 0.28)	54 ( 1.80)	11,923 ( 3.78)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	11	2		2	20 ( 0.67)	29 ( 0.97)	6,522 ( 2.06)	561 ( 18.70)	96,174 ( 30.46)		
	感染性胃腸炎	9	16	51	7	9	11	103 ( 3.43)	114 ( 3.80)	14,206 ( 4.50)	1,450 ( 48.33)	197,432 ( 62.54)		
	水痘	1	2	1	1			5 ( 0.17)	1 ( 0.03)	851 ( 0.27)	60 ( 2.00)	11,408 ( 3.61)		
	手足口病		1	2				3 ( 0.10)	7 ( 0.23)	480 ( 0.15)	132 ( 4.40)	6,449 ( 2.04)		
	伝染性紅斑			1				1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	253 ( 0.08)	14 ( 0.47)	2,773 ( 0.88)		
	突発性発疹		2	2		1	4	9 ( 0.30)	6 ( 0.20)	1,221 ( 0.39)	99 ( 3.30)	13,436 ( 4.26)		
	ヘルパンギーナ							( 0.00)	( 0.00)	41 ( 0.01)	4 ( 0.13)	614 ( 0.19)		
	流行性耳下腺炎		1	1				2 ( 0.07)	2 ( 0.07)	380 ( 0.12)	10 ( 0.33)	5,948 ( 1.88)		
	RSウイルス感染症	1		6			1	8 ( 0.27)	7 ( 0.23)	1,139 ( 0.36)	153 ( 5.10)	17,075 ( 5.41)		
眼科	急性出血性結膜炎							( 0.00)	( 0.00)	18 ( 0.03)	( 0.00)	121 ( 0.17)		
	流行性角結膜炎							( 0.00)	( 0.00)	439 ( 0.63)	7 ( 2.33)	5,514 ( 7.91)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( 0.00)	6 ( 0.01)	2 ( 0.25)	106 ( 0.22)		
	無菌性髄膜炎							( )	( 0.00)	16 ( 0.03)	1 ( 0.13)	137 ( 0.29)		
	マイコプラズマ肺炎			2				2 ( 0.25)	( 0.00)	74 ( 0.16)	22 ( 2.75)	1,071 ( 2.24)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 ( 0.13)	1 ( 0.13)	3 ( 0.01)	9 ( 1.13)	50 ( 0.10)		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			1			1	2 ( 0.25)	1 ( 0.13)	198 ( 0.42)	11 ( 1.38)	1,298 ( 2.71)		
計(小児科定点当たり人数)	16 ( 7.00)	35 ( 4.54)	101 ( 8.22)	14 ( 4.13)	13 ( 5.75)	19 ( 3.60)	198 ( 5.92)			43,473	23,355 ( 517.19)	2,085,856		
前週(小児科定点当たり人数)	17 ( 5.50)	46 ( 5.59)	137 ( 10.84)	25 ( 6.59)	23 ( 10.50)	34 ( 5.90)		282 ( 7.95)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計)		全国(13週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/1/1～H30/4/8	H30/1/1～H30/4/1		
インフルエンザ	インフルエンザ	1.00	0.82	1.31	0.80	0.75		0.85	2.29	3.39	432.63	346.68		
小児科	咽頭結核熱			0.09				0.03	0.10	0.28	1.80	3.78		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.57	1.00	0.67		0.40	0.67	0.97	2.06	18.70	30.46		
	感染性胃腸炎	4.50	2.29	4.64	2.33	4.50	2.20	3.43	3.80	4.50	48.33	62.54		
	水痘	0.50	0.29	0.09	0.33			0.17	0.03	0.27	2.00	3.61		
	手足口病		0.14	0.18				0.10	0.23	0.15	4.40	2.04		
	伝染性紅斑			0.09				0.03	0.03	0.08	0.47	0.88		
	突発性発疹		0.29	0.18		0.50	0.80	0.30	0.20	0.39	3.30	4.26		
	ヘルパンギーナ							0.00	0.00	0.01	0.13	0.19		
	流行性耳下腺炎		0.14	0.09				0.07	0.07	0.12	0.33	1.88		
	RSウイルス感染症	0.50		0.55			0.20	0.27	0.23	0.36	5.10	5.41		
眼科	急性出血性結膜炎							0.00	0.00	0.03	0.00	0.17		
	流行性角結膜炎							0.00	0.00	0.63	2.33	7.91		
基幹	細菌性髄膜炎							0.00	0.00	0.01	0.25	0.22		
	無菌性髄膜炎							0.00	0.00	0.03	0.13	0.29		
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.25	0.00	0.16	2.75	2.24		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.13	0.01	1.13	0.10		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)			0.20			1.00	0.25	0.13	0.42	1.38	2.71		
計(小児科定点当たり人数)	7.00	4.54	8.22	4.13	5.75	3.60	5.92				517.19			
前週(小児科定点当たり人数)	5.50	5.59	10.84	6.59	10.50	5.90		7.95						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2018年4月9日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。